

令和7年度学校法人福岡大学収支予算

《令和7年度予算の重点施策》

- (1) 教育、研究、医療体制の整備・充実
- (2) 先進的で高度な研究活動の遂行
- (3) 組織再編、集約による人員の適正化及び人件費比率の低減
- (4) 既存予算の抜本的見直しによる経費削減
- (5) 耐震対策及びバリアフリー化等の工事の実施
- (6) 病院経営基盤の強化
- (7) 教育研究メディアシステム（第二世代）の構築及びDXの推進

1. 令和7年度事業活動収支予算 (予算規模898億円)

(単位:千円)

No.	科 目	7年度予算額	6年度予算額	差 異
1	学生生徒等納付金	28,819,454	28,265,344	554,110
2	手数料	1,107,716	1,168,491	△ 60,775
3	寄付金	613,530	634,561	△ 21,031
4	経常費等補助金	6,115,981	6,541,095	△ 425,114
5	付随事業収入	1,207,863	1,202,841	5,022
6	医療収入	49,050,913	46,486,727	2,564,186
7	雑収入	1,405,589	1,779,485	△ 373,896
8	教育活動収入計	88,321,046	86,078,544	2,242,502
9	人件費	43,035,534	40,607,668	2,427,866
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(2,168,836)	(2,466,795)	(△ 297,959)
11	教育研究経費	45,235,977	41,544,530	3,691,447
12	(うち減価償却額)	(6,339,739)	(6,315,605)	(24,134)
13	管理経費	4,351,255	4,324,286	26,969
14	(うち減価償却額)	(426,094)	(408,557)	(17,537)
15	教育活動支出計	92,622,766	86,476,484	6,146,282
16	教育活動収支差額(8-15)	△ 4,301,720	△ 397,940	△ 3,903,780
17	教育活動収入	88,321,046	86,078,544	2,242,502
18	受取利息・配当金	1,109,093	959,911	149,182
19	その他の教育活動外収入	50,000	50,000	0
20	教育活動外収入計	1,159,093	1,009,911	149,182
21	借入金等利息	110,163	126,423	△ 16,260
22	その他の教育活動外支出	0	0	0
23	教育活動外支出計	110,163	126,423	△ 16,260
24	教育活動外収支差額(19-22)	1,048,930	883,488	165,442
25	経常収支差額(16+23)	△ 3,252,790	485,548	△ 3,738,338
26	特別収入	348,877	393,130	△ 44,253
27	特別収入計	348,877	393,130	△ 44,253
28	資産処分差額	0	0	0
29	その他の特別支出	0	0	0
30	特別支出計	0	0	0
31	特別収支差額(27-30)	348,877	393,130	△ 44,253
32	[予備費]	192,140	380,417	△ 188,277
33	基本金組入前当年度収支差額(24+31-32)	△ 3,096,053	498,261	△ 3,594,314
34	基本金組入額合計	△ 13,135,363	△ 18,864,802	5,729,439
35	当年度収支差額(33+34)	△ 16,231,416	△ 18,366,541	2,135,125
36	前年度繰越収支差額	△ 42,097,872	△ 32,105,893	△ 9,991,979
37	翌年度繰越収支差額(35+36)	△ 58,329,288	△ 50,472,434	△ 7,856,854
38	事業活動収入計(8+19+27)	89,829,016	87,481,585	2,347,431
39	事業活動支出計(15+22+30+32)	92,925,069	86,983,324	5,941,745

経常的な収支のうち、**本業の教育活動の収支**を見ることができ、7年度は43億200万円の支出超過となる見込み。6年度より経常費等補助金が4億2,500万円、雑収入が3億7,400万円減少、医療収入が25億6,400万円増加、人件費が24億2,800万円、教育研究経費が36億9,100万円増加によるもの。

経常的な**収支バランス**を見ることができ、7年度は32億5,300万円の支出超過となる見込み。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の**臨時的な収支**を見ることができ、7年度は3億4,900万円の収入超過となる見込み。

良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額である。6年度より57億2,900万円減少となる見込み。

医療収入増加の主な要因
福大病院の入院診療単価の上昇、入院・外来患者数の増加及び筑紫病院の入院・外来診療単価の上昇、外来患者数の増加によるもの。

人事院勧告等によるベースアップ率2.76%及びこれに係る賞与等が増加したことによるもの。

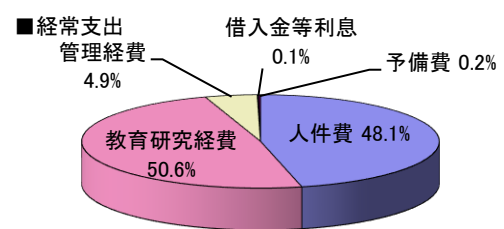
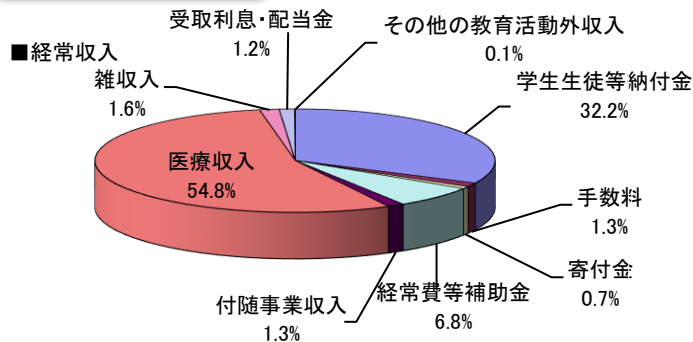
教育研究経費増加の主な要因
医学部別館・本館移転業務約13億円及び医療収入に連動して医療経費が増加したことによるもの。

経常的な収支のうち、**財務活動の収支**を見ることができ、7年度は10億4,900万円の収入超過となる見込み。

毎年度の**収支バランス**を見ることができる。7年度は30億9,600万円の支出超過となる見込み。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除したもの。7年度は162億3,100万円の支出超過となる見込み。

経常収入に対する比率



※ 各科目の構成比率は経常収入を100%として表示しています。

【事業活動収支予算の概要】

- ・ No. 33基本金組入前当年度収支差額 (No. 38事業活動収入－No. 39事業活動支出) は、30億9,600万円の支出超過を見込んでおり、事業活動収支差額比率 (No. 33基本金組入前当年度収支差額÷No. 38事業活動収入) は、△3.45%となっています。
- ・ 人件費比率 (No. 9人件費÷経常収入 [No. 8教育活動収入＋No. 19教育活動外収入]) は、48.1%となり、前年度予算より1.5ポイント高くなっています。

2. 令和7年度資金収支予算
(予算規模1,459億円)

《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院、筑紫病院、西新病院の医療収入です。

収入の部				
No.	科 目	7年度予算額	6年度予算額	差 異
1	学生生徒等納付金収入	28,819,454	28,265,344	554,110
2	手数料収入	1,107,716	1,168,491	△ 60,775
3	寄付金収入	657,144	677,293	△ 20,149
4	補助金収入	6,421,244	6,891,493	△ 470,249
5	付随事業・収益事業収入	1,257,863	1,252,841	5,022
6	医療収入	49,050,914	46,486,727	2,564,187
7	受取利息・配当金収入	1,109,093	959,911	149,182
8	雑収入	1,405,589	1,779,485	△ 373,896
9	借入金収入	0	100,000	△ 100,000
10	前受金収入	5,295,848	5,242,369	53,479
11	その他の収入	47,123,045	36,658,732	10,464,313
12	資金収入調整勘定	△ 15,689,501	△ 15,448,552	△ 240,949
13	収入計	126,558,409	114,034,134	12,524,275
14	前年度繰越支払資金	19,362,113	26,128,472	△ 6,766,359
15	収入の部合計	145,920,522	140,162,606	5,757,916

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

・長期、短期の貸付金の回収額
・税金等の預り金受入額
・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した額

教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

学長裁量経費、文部科学省施策対応および予算編成時において予期しない支出に対応するためのものです。

支出の部				
No.	科 目	7年度予算額	6年度予算額	差 異
16	人件費支出	43,148,658	40,560,324	2,588,334
17	教育研究経費支出	38,896,239	35,228,925	3,667,314
18	管理経費支出	3,925,161	3,915,730	9,431
19	借入金等利息支出	110,163	126,423	△ 16,260
20	借入金等返済支出	1,714,642	1,714,642	0
21	施設関係支出	13,897,390	7,930,695	5,966,695
22	設備関係支出	2,663,886	5,143,443	△ 2,479,557
23	資産運用支出	2,411,055	4,271,111	△ 1,860,056
24	その他の支出	22,067,188	28,314,650	△ 6,247,462
25	予備費	194,000	381,000	△ 187,000
26	資金支出調整勘定	△ 7,292,079	△ 7,679,487	387,408
27	支出計	121,736,303	119,907,456	1,828,847
28	翌年度繰越支払資金	24,184,219	20,255,150	3,929,069
29	支出の部合計	145,920,522	140,162,606	5,757,916

学生生徒等の教育・研究や医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。

・長期、短期の貸付金の支出額
・税金等の預り金支出額
・前期末未払金の支払いに係る支出額

【資金収支予算の概要】（注：↑…増加を示す ↓…減少を示す）			
《収入の部》		《支出の部》	
No.1 学生生徒等納付金収入	↑ 予算学生数の増加によるもの。	No.16 人件費支出	↑ 人件費のベア率の上昇によるもの。
No.4 補助金収入	↓ 国庫補助金の減少によるもの。	No.17 教育研究経費支出	↑ 医学部別館・本館移転業務、情報関連経費等の増加によるもの。
No.6 医療収入	↑ 福岡大学病院の入院診療単価の上昇、入院・外来患者数の増加及び筑紫病院の入院・外来診療単価の上昇、外来患者数の増加によるもの。	No.21 施設関係支出	↑ 医学部研究棟別館耐震改修工事、多目的棟(仮称)新築工事等の増加によるもの。
No.7 受取利息・配当金収入	↑ 金利上昇による受取利息の増加によるもの。	(令和7年度予算の主な内訳) ・医学部研究棟別館耐震改修工事 ・多目的棟(仮称)新築工事 ・若葉高校東側土地 ・西新病院新本館(仮称)新築工事 ・大学新本館(仮称)新築工事 ・A棟大規模改修工事 ・大濠中学校・高等学校本館1階ピロティ他非構造部材耐震対策工事	
No.8 雑収入	↓ 私立大学退職金財団交付金収入の減少によるもの。	No.22 設備関係支出	↓ 福岡大学病院新本館関係の機械器具支出の減少。
No.9 借入金収入	↓ 福岡大学病院新本館新築工事に伴う借入の減少によるもの。	(令和7年度予算の主な内訳) ・学内情報システム更新事業等 ・理化学部配分額	
No.11 その他の収入	↑ 各種特定資産からの取崩収入の増加によるもの。	No.24 その他の支出	↓ 前期末未払金支出の減少。
〔資金収支規模と翌年度繰越支払資金〕 ・資金収支予算の合計は1,459億2,000万円で、前年度予算より57億5,800万円の増加となっています。 ・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は241億8,400万円で、前年度予算より39億2,900万円の増加となっています。			

《令和7年度予算の特徴》

(1) 教育関係

- ① 学内情報システム更新等
- ② 奨学費(高等教育支援制度授業料等減免、FUスカラシップ)

(2) 研究関係

- ① 若手・女性研究基盤構築支援事業
- ② 領域別重点研究
- ③ 研究ブランディング事業「カーボンニュートラル推進プロジェクト」
- ④ 女性研究者研究活動支援事業費

(3) メディカル部門

- ① 福岡大学病院(設備関係)
 - ・ 病理検査業務支援システム、血管造影動画画像ネットワークシステム、病理解剖機器関連等

(4) 附属高等学校・中学校部門

- ① 大濠高等学校・中学校
 - ・ 1階ピロティ他非構造部材耐震対策工事等
- ② 若葉高等学校
 - ・ 若葉高等学校新本館(仮称)新築工事
 - ・ 若葉高等学校新本館(仮称)新築工事に伴う仮設駐輪場他整備工事

(5) 学長裁量経費

(6) その他

- ① 医学部研究棟別館耐震改修工事に伴う医学部別館・本館移転業務

【学校法人会計の豆知識】

・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

(1) 資金収支計算書

- ① 企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持つ計算書です。
- ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。

(2) 事業活動収支計算書

- ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
- ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。